

ね が い か ざ ろ う

仙 台 七 夕 七 つ 飾 り

〔 作 り 方 ガ イ ド ブ ッ ク 〕

つ く る、



と ど く ☆



く　　と　　く　　☆
っ　　る、　　ど

仙　台　七　夕　七　つ　飾　り

仙台藩祖 伊達政宗公の時代から400年以上続く、

伝統ある仙台七夕まつり。

仙台オリジナルの七つ飾りには、

一つひとつ願いが込められています。

その意味を知っておくと、

見るのも飾るのも、楽しみが広がります。

ね　　が　　い



仙台七夕の歴史

毎年8月6日・7日・8日の

3日間開催される仙台七夕まつり。

中心部の商店街をはじめ、仙台市内全域に

約3,000本の七夕飾りがお目見えます。

杜の都が色とりどりに彩られる、

豪華絢爛な3日間。

和紙でつくられた伝統的な七夕飾りが

夏の風にたなびく姿は、とても優雅です。

巧みな手仕事と伊達な心を感じる

日本一の七夕まつりとして、

全国にその名を馳せています。

仙台商人の心意気。

第一次世界大戦以降の不景気で、仙台七夕まつりは衰退。不景気を吹き飛ばそう！と、大町の商人たちが1927年(昭和2年)に華やかな七夕飾りを復活させます。まちには飾りを一目見ようとする人があふれ、活気が戻りました。しかし、後に勃発する第二次世界大戦によって、七夕飾りは再び姿を消してしまうのです。

震災、鎮魂と復興。

2011年(平成23年)の仙台七夕まつりは、東日本大震災のわずか5ヵ月後。開催が危ぶまれたものの、全国、世界各地から贈られた短冊や折鶴、被災地の子どもたちによる8万羽の折鶴などが飾られ、鎮魂と復興を祈る人々の力強いメッセージを託して実現。3日間で200万人が訪れ、復興への歩みを後押ししました。

七つ飾りをつくってみよう。

★ 短冊をつくってみよう。P3★

★ 紙衣をつくってみよう。P6★

★ 折鶴をつくってみよう。P12★

★ 巾着をつくってみよう。P17★

★ 投網をつくってみよう。P22★

★ 屑籠をつくってみよう。P27★

★ 吹き流しをつくってみよう。P32★

はじまり。

仙台七夕まつりは本来、田の神に豊作を祈る行事。冷害による飢餓を遠ざける意味があります。仙台藩祖・伊達政宗公の時代から行われるようになり、その後、民衆の間に広がったといわれています。

なぜ、8月？

旧暦の7月7日に行われていた七夕まつり。全国的には、現在も7月7日を七夕の日としていますが、1928年(昭和3年)の東北産業博覧会の開催を機に、旧暦に1ヵ月足した中暦にちなんでひと月遅れの8月6日に開催されるようになりました。

戦禍を乗り越えて。

仙台空襲によって焼け野原となった一番町通りに52本の七夕飾りが立てられたのは、終戦翌年の1946年(昭和21年)のこと。人々は涙を流して喜びました。1947年(昭和22年)、昭和天皇が仙台的まちを巡幸されたときには、5,000本の七夕飾りが七色のアーチをつくって歓迎。戦後、人々を勇気づけた仙台七夕まつりは、やがて観光イベントになり、今日まで続いています。

仙台七夕は願いと祈りのまつり。

冷害、不況、戦争、大震災。いつの時代も、どんな困難も、みんなの願いを乗せながら、仙台のまちを明るく彩ってきた七夕飾り。空に向かって美しく、たなびく七夕飾りは、私たちの目線を上向きにしてくれます。歴史ある七夕飾りのルーツに思いを馳せながら、願いを飾ろう、仙台七夕まつり。

かざろう



天の川

短冊

Tanzaku

[たんざく]

昔は早朝に、

カラトリ(サトイモ)の葉にたまった夜露で墨をすり、

和歌を書いて学問や書道の上達を願いました。

現在は、願いごとを書いて飾っています。

短冊をつくってみよう

天の川

★ 用意する紙

和紙 または いろがみ(ヨコ4cm×タテ7cm)

★ 用意する道具



はさみ



のり



両面テープ



木工用ボンド



セロハンテープ



ホッチキス



カッター



たこ糸用針



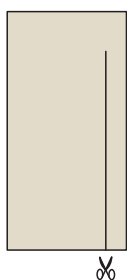
たこ糸
(長さ30cm)



ペン

----- 山折り ----- 谷折り

1



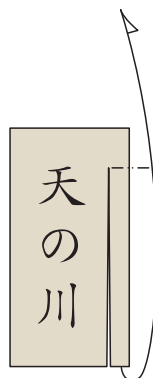
右7mmに切りこみを入れる。

2



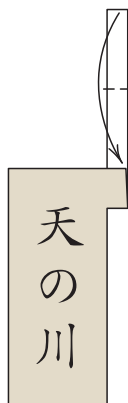
ねがいごとを書く。

3



奥に向かって折る。

3



4



できあがり

ササにまきつけるか
ホッチキスでとめる。



短冊

Tanzaku

[たんざく]



紙衣

Kamigoromo

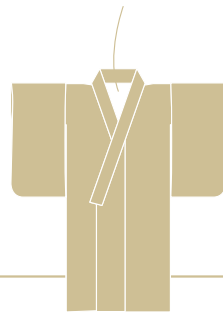
[かみごろも]

昔はお母さんや先生に、着物の縫い方を習いました。

裁縫の上達を願いながら、病や災いの身代わりとして、

紙でつくった着物を捧げます。

紙衣をつくってみよう



★ 用意する紙

和紙 または いろがみ (ヨコ12.5cm×タテ25cm)

★ 用意する道具



はさみ



のり



両面テープ



木工用ボンド



セロハンテープ



ホッチキス



カッター



たこ糸用針



たこ糸
(長さ30cm)



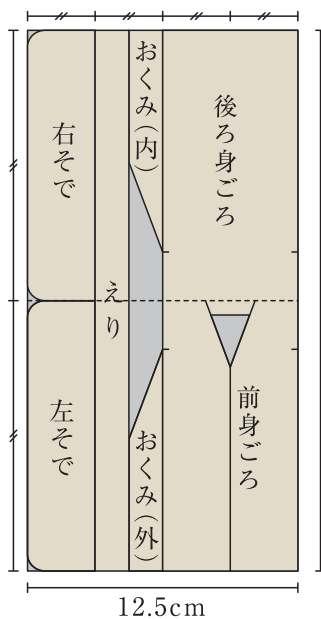
ペン

ポイント

ポイントマークは、「ここがポイント」ページをご覧ください。

----- 山折り ----- 谷折り

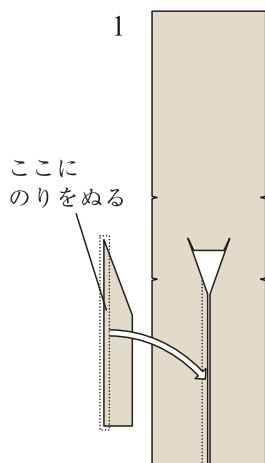
[紙の準備]



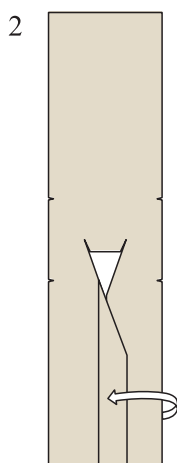
11ページから
型紙を
ダウンロード
できます

—— 切りこむ部分

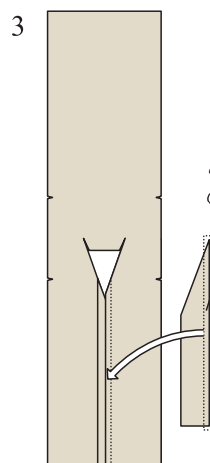
■ 不要な部分



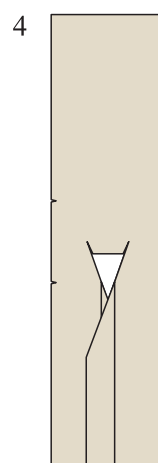
おくみ(内側)の裏に
のりをぬり、身ごろにはる。



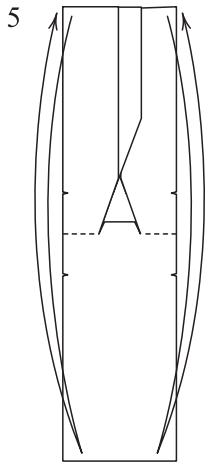
身ごろの右側を
手前に出す。



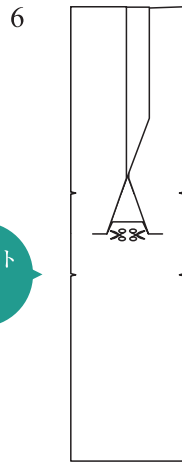
1と同じように、
おくみ(外側)をはる。



うらがえして、
上下ひっくりかえす。

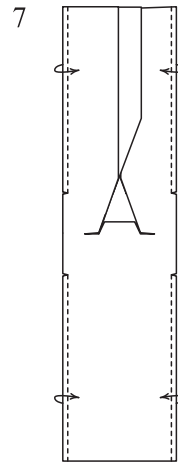


折りすじをつける。
首は折らない

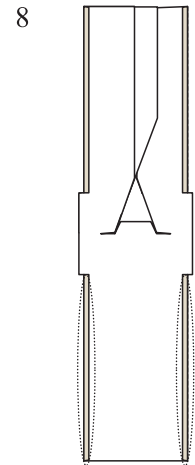


ポイント
1

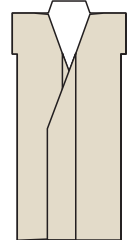
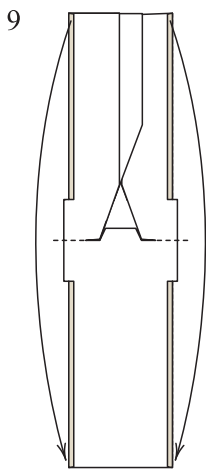
5で折ったところに
切りこみを入れる。



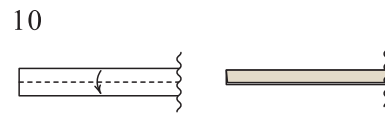
両はしを折る。



点線の部分に
のりをぬる。

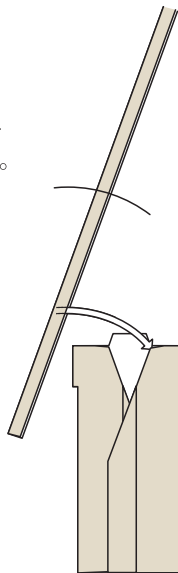


上下半分に
折ってはる。



えりをつくる。
裏側からはじめる。半分に折る。

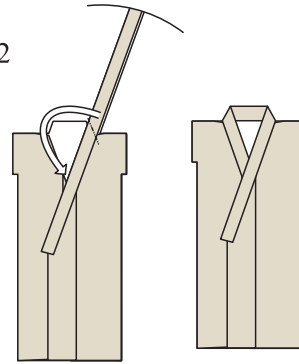
11



ポイント
2

6の切りこみにえりをさしこむ。

12



ポイント
3

首のまわりに巻きつけながらさしこみ、
のりづけする。
余分なえりは切りおとす。

13



そでをつくる。
裏側からはじめる。
折りすじをつける。

14



ここには
ぬらない

点線の部分に
のりをぬり、
折ってはり合わせる。

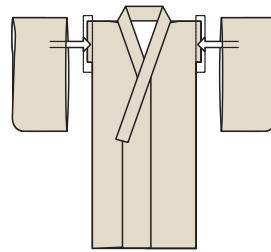
15



ここには
ぬらない

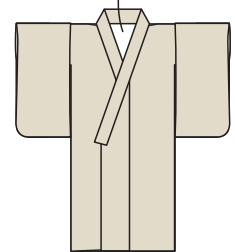
反対側も
のりをぬり、
折ってはり合わせる。

16



点線の部分に
のりをぬり、
そでをはる。

17



はりで糸を
とおす。

できあがり

ここがポイント



ポイント
1

折ったところに
切りこみを入れる。

切りこみにえりをさしこむ。

ポイント
2



ポイント
3

首のまわりに巻きつけながらさしこみ、
のりづけする。
余分なえりは切りおとす。

※ポイント2、3は、えりの紙をかえてつくっています。

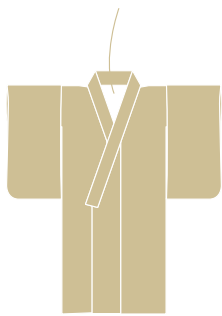


紙 衣

Kamigoromo

[かみごろも]



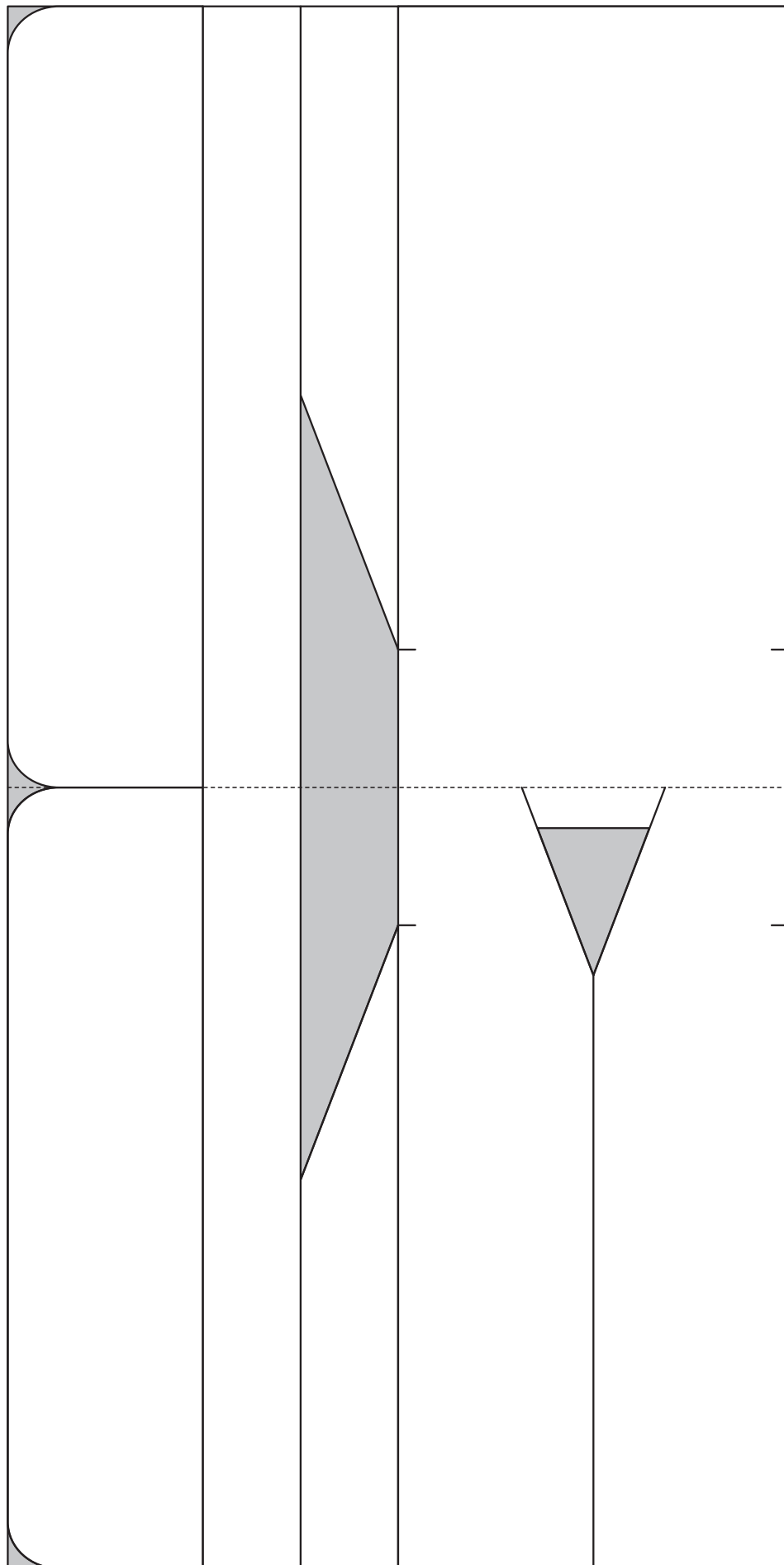


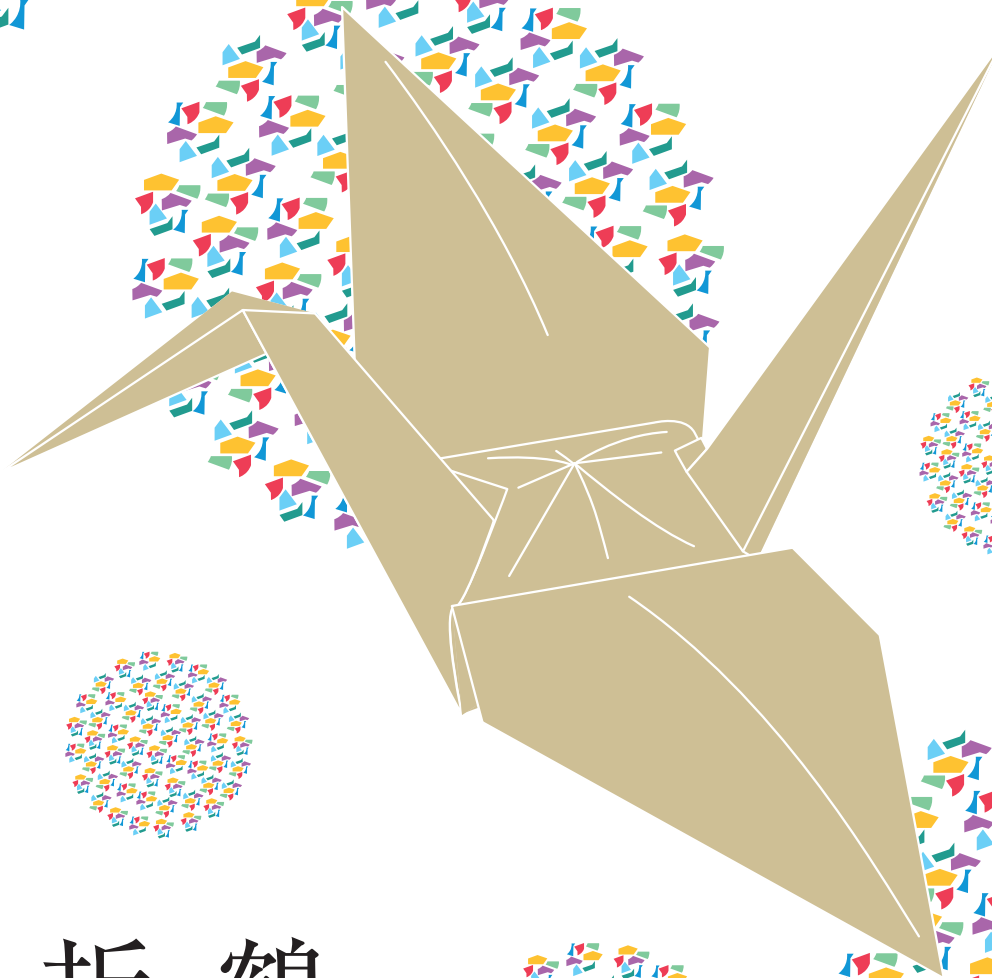
紙衣の 型紙

紙衣をつくる前に、
ダウンロードし、
プリントアウトしたものを
切り取って
ご使用ください。

—— 切りこむ部分

■ 不要な部分





折 鶴

Orizuru

[おりづる]

折り方を通して教わる心、教える心を育んできた

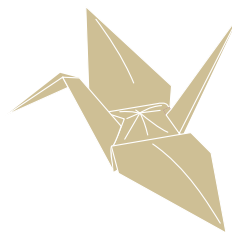
日本伝統のおりがみ。鶴はその代表です。

昔は一家の最年長者の年齢の数だけ折り、

長生きを願いました。



折鶴をつくってみよう



★ 用意する紙

和紙 または いろがみ

★ 用意する道具



はさみ



のり



両面テープ



木工用ボンド



セロハンテープ



ホッチキス



カッター



たこ糸用針



たこ糸
(長さ30cm)



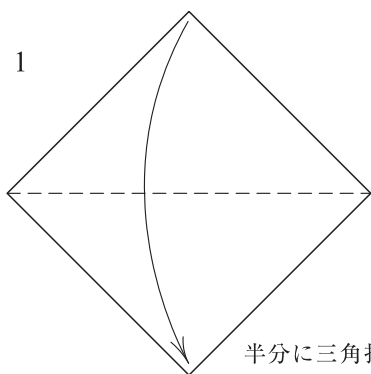
ペン

ポイント

ポイントマークは、「ここがポイント」ページをご覧ください。

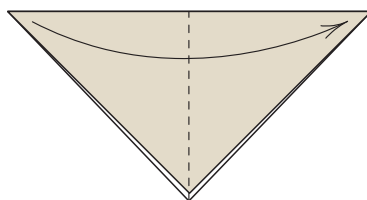
----- 山折り ----- 谷折り

1



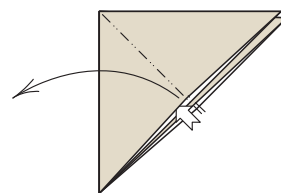
半分に三角折りをする。

2



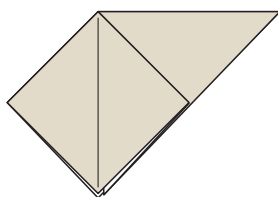
さらに半分に三角折り。

3



上の三角形をひらく。

4

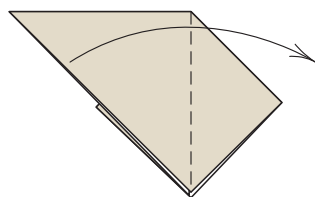


正方形に折りたたむ。

5

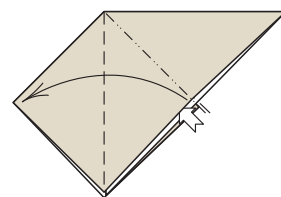


うらがえす。



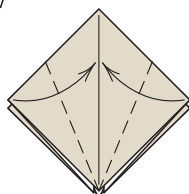
右に折る。

6



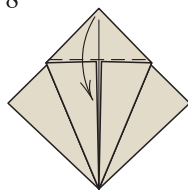
3、4と同じように三角形をひらき、
正方形に折りたたむ。

7



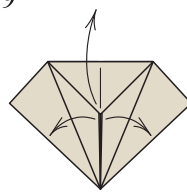
まん中の折り線に合わせて
三角折り。

8



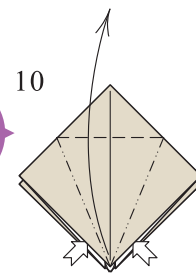
上を三角に折り下げる。

9



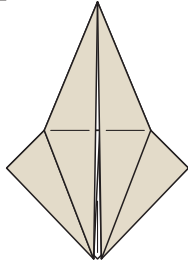
7にもどす。

ポイント
1



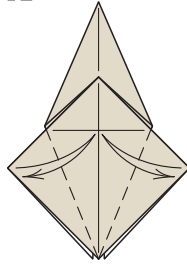
ひらいて、
折りすじに合わせて
折りたたむ。

11



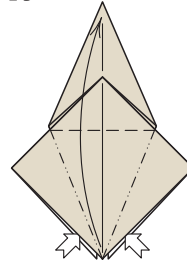
うらがえす。

12



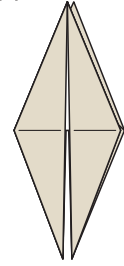
左右・上を三角折りし、
折りすじをつける。

13



11と同じように、
ひらいて折りたたむ。

14

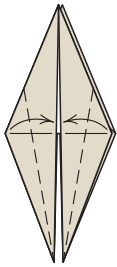


羽
頭と尾

わかれていたほうを
下にする。

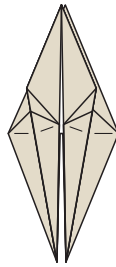
15

ポイント
2



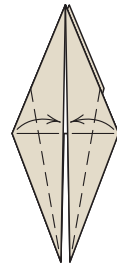
頭と尾を三角折り。

16



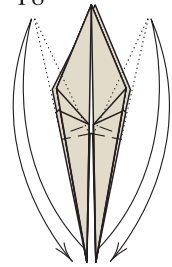
うらがえす。

17



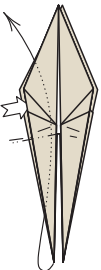
15と同じように
三角折り。

18



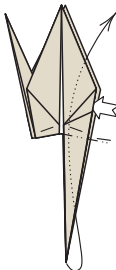
折りすじをつける。

19



折りすじに合わせて、
中わり折り
(羽の中に折りこむ)。

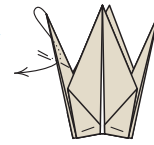
20



はんたいも同じように、
中わり折り。

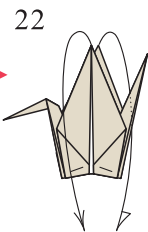
ポイント
3

21



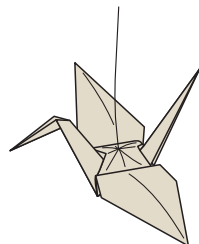
中わり折り
でくちばしをつくる。

ポイント
4

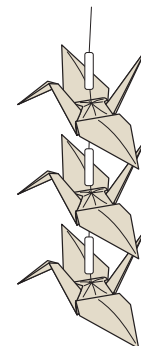


羽をひろげて、
おなかをふくらませる。

できあがり

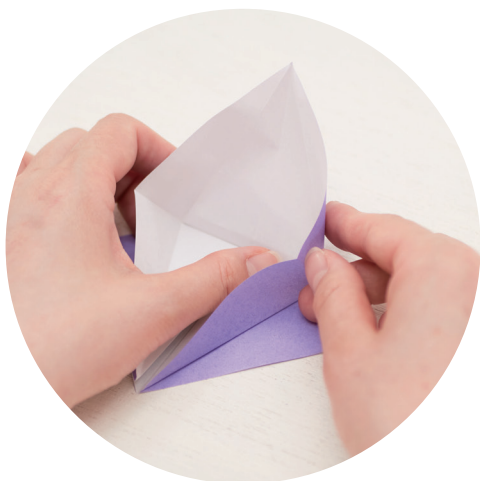


下の穴からはりをさし、たこ糸をとす。



折り鶴を何羽かストローでつなげましょう。

ここがポイント



ポイント
1

ひらいて、
折りすじに合わせて折りたたむ。

頭と尾を三角折り。

ポイント
2



ポイント
3

中わり折りでくちばしをつくる。

羽をひろげて、
おなかをふくらませる。

ポイント
4



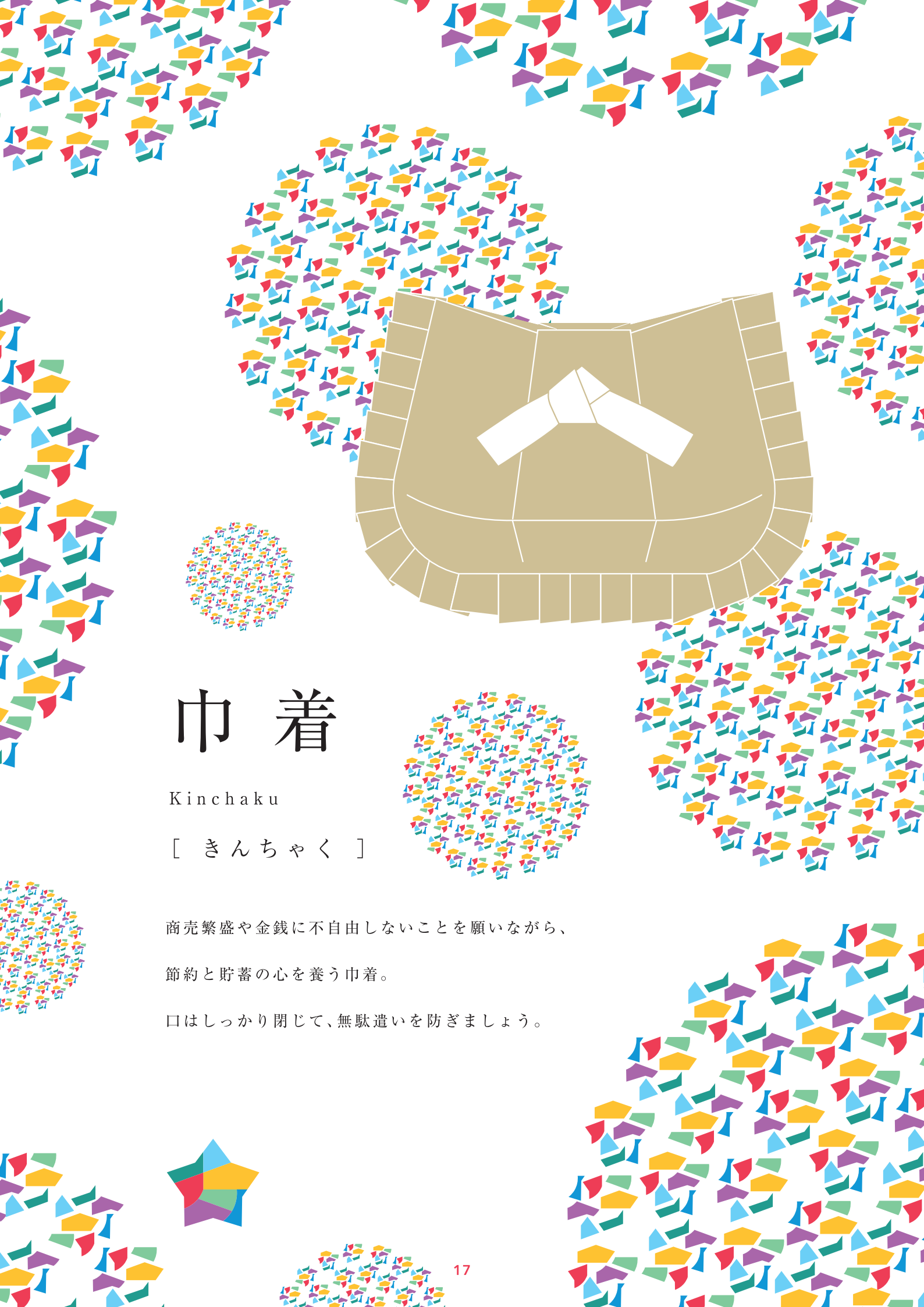


折 鶴

Orizuru

[おりづる]





巾着

Kinchaku

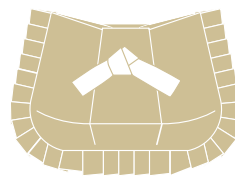
[きんちゃく]

商売繁盛や金銭に不自由しないことを願いながら、

節約と貯蓄の心を養う巾着。

口はしっかり閉じて、無駄遣いを防ぎましょう。

巾着をつくってみよう



★ 用意する紙

[ふくろ] 和紙 または いろがみ(ヨコ10cm×タテ7cm)2枚
[ふちかざり] いろがみ(ヨコ50cm×タテ4cm)1枚

★ 用意する道具



はさみ



のり



両面テープ



木工用ボンド



セロハンテープ



ホッチキス



カッター



たこ糸用針



たこ糸
(長さ30cm)



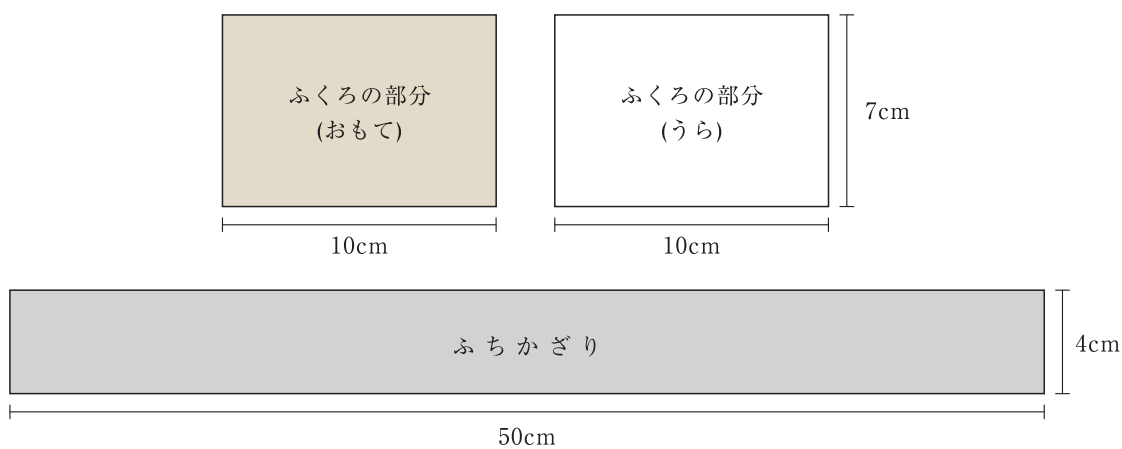
ペン

ポイント

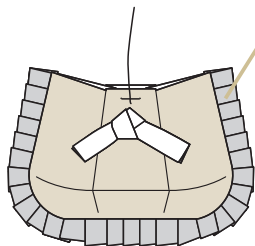
ポイントマークは、「ここがポイント」ページをご覧ください。

----- 山折り ----- 谷折り

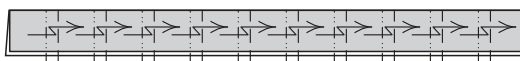
[紙の準備]



ふちかざりをつくる

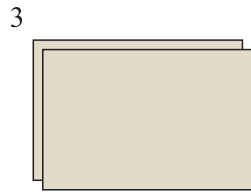
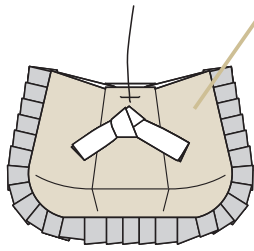


1 ふちかざり用の紙を半分に折る。

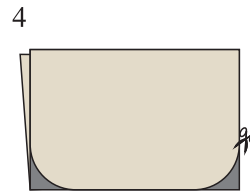


2 だん折りをする。
小さいいろがみでつくり、
何本かつなげてもOK。

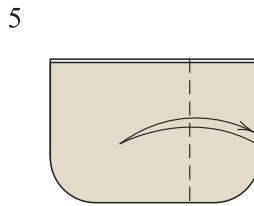
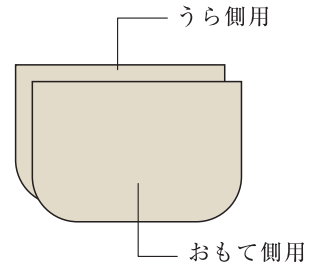
ふくろをつくる



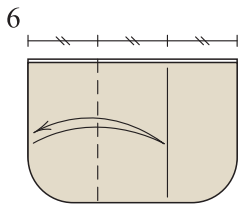
ふくろ用の紙を2枚かさねる。



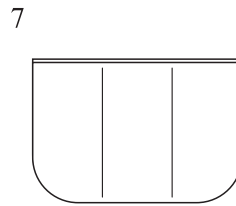
2枚いっしょに、
下のカドをまるく切りおとす。



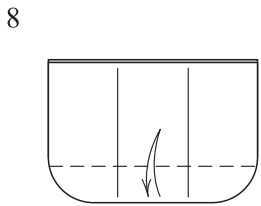
2枚かさねて、
3等分に折りすじをつける。



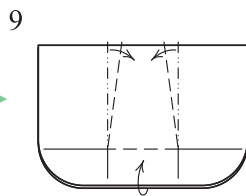
はнтаいも同じように、
折りすじをつける。



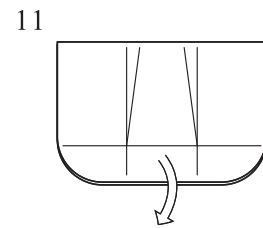
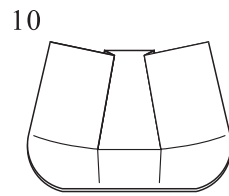
うらがえす。



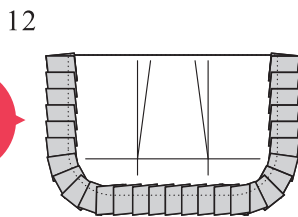
2枚いっしょに
折りすじをつける。



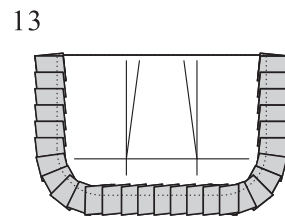
10の形になるように、
よせるように折って
立体にする。



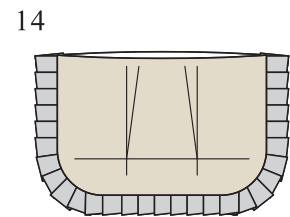
たいらに戻す。
上の1枚を取り出す。



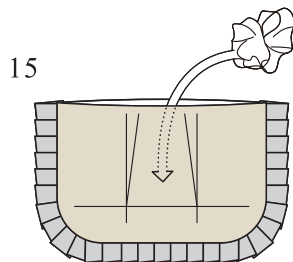
ふくろの形に合わせて、
ふちかざりをまげる。
ふちかざりが足りないときは、
必要な長さだけつくる。



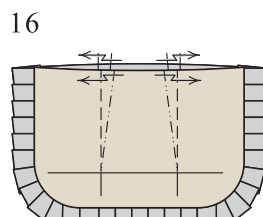
ふくろ(うら側)とふちかざりを
両面テープではる。
ふちかざりがあまったら、
余分な長さをはさみで切りおとす。



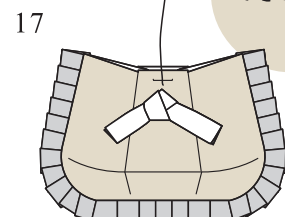
もう一枚の紙を上からはる。



紙くずを入れる。



だん折りをする。
ふくろの高さよりも小さめに折ると、
ぷっくらと仕上がる。



糸といっしょに口をホッチキスでとめる。
お好みでりぼんなど、
かざりをつける。

できあがり

ここがポイント



ポイント
1

よせるように折って
立体にする。

ふくろの形に合わせて、
ふちかざりをまげる。
ふちかざりが足りないときは、
必要な長さだけつくる。

ポイント
2



ポイント
3

だん折りをする。
ふくろの高さよりも小さめに折ると、
ぷっくりと仕上がる。

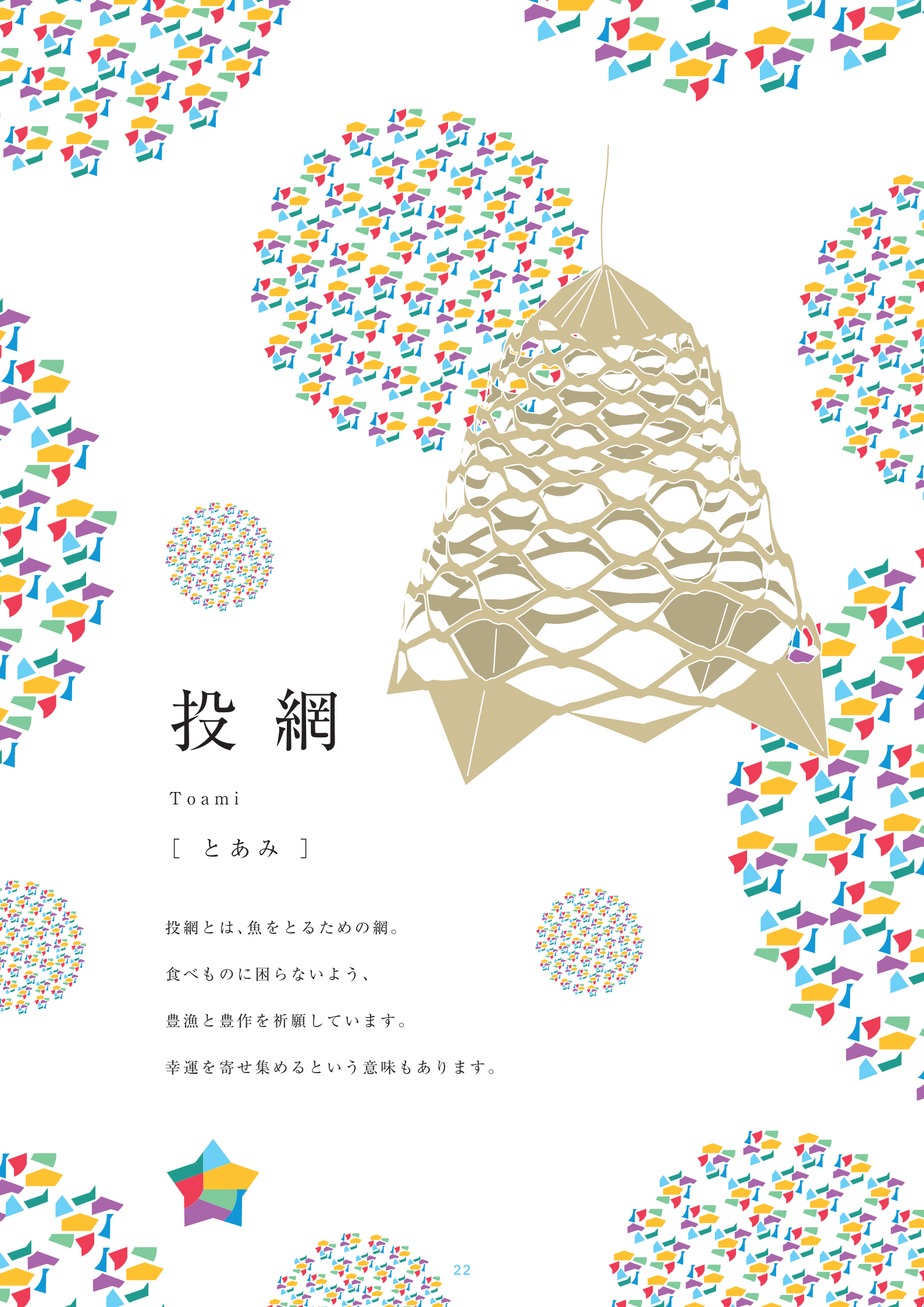


巾 着

Kinchaku

[きんちゃく]





投 網

Toami

[とあみ]

投網とは、魚をとるための網。

食べものに困らないよう、

豊漁と豊作を祈願しています。

幸運を寄せ集めるという意味もあります。

投網をつくってみよう



★ 用意する紙

薄葉紙(うすようし)または 花がみ(18cmの正方形)1枚
かたい紙は形がひろがりにくいため、うすくてやわらかい紙がおすすめ。

★ 用意する道具



はさみ



のり



両面テープ



木工用ボンド



セロハンテープ



ホッチキス



カッター



たこ糸用針



たこ糸
(長さ30cm)

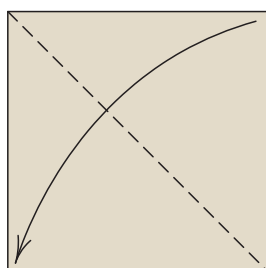


ペン

ポイント▶ ポイントマークは、「ここがポイント」ページをご覧ください。

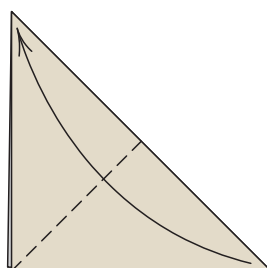
----- 山折り

1



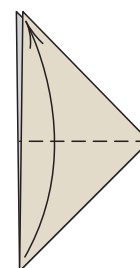
半分に三角折りをする。

2



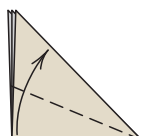
さらに半分に三角折り。

3



半分に三角折り。

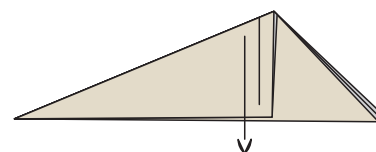
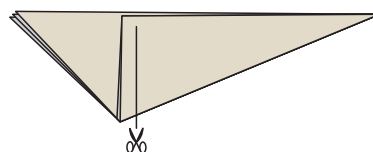
4



半分に三角折り。

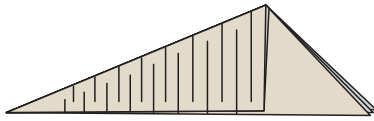
5

ポイント
1



5mmほどすきまをあけて、はさみで切りこみを入れる。

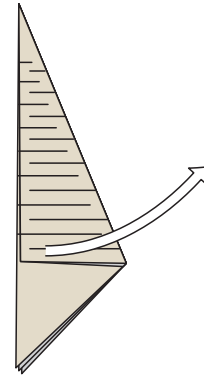
6



上下交互に切りこみを入れていく。
先端は2cmのこす。

7

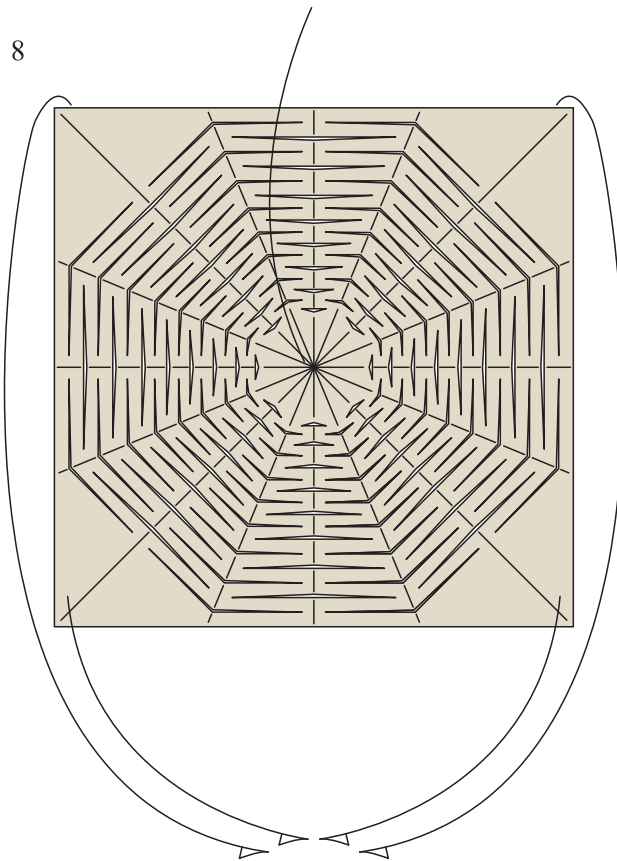
ポイント
2



やぶれないように、
ゆっくりひろげる。

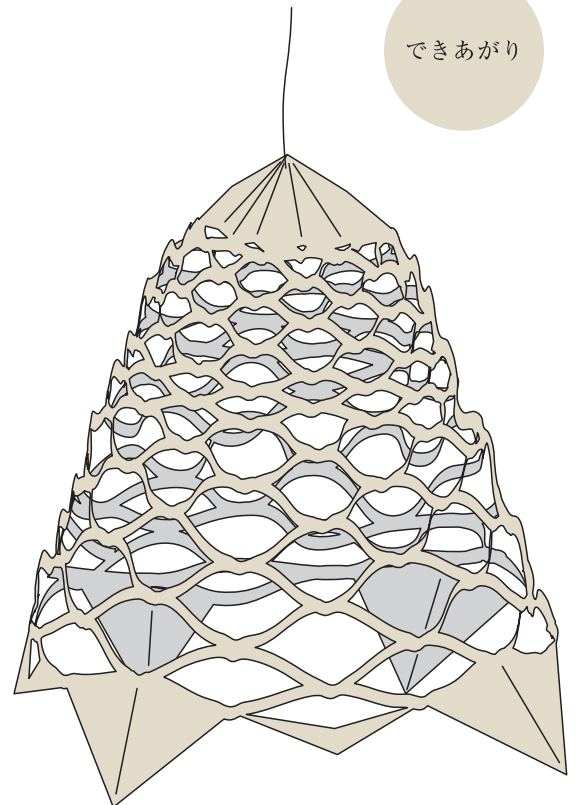
8

ポイント
3



はりで、まん中に糸をとす。
セロハンテープで、うら側をとめる。

できあがり



まん中をもち上げて、
紙の4つカドを引き下げる。

こ が ポ イ ン ト



ポイント
1

5mmほどすきまをあけて、
はさみで切りこみを入れる。

やぶれないように、
ゆっくり広げる。

ポイント
2



ポイント
3

はりで、まん中に糸をとおす。
セロハンテープで、うら側をとめる。

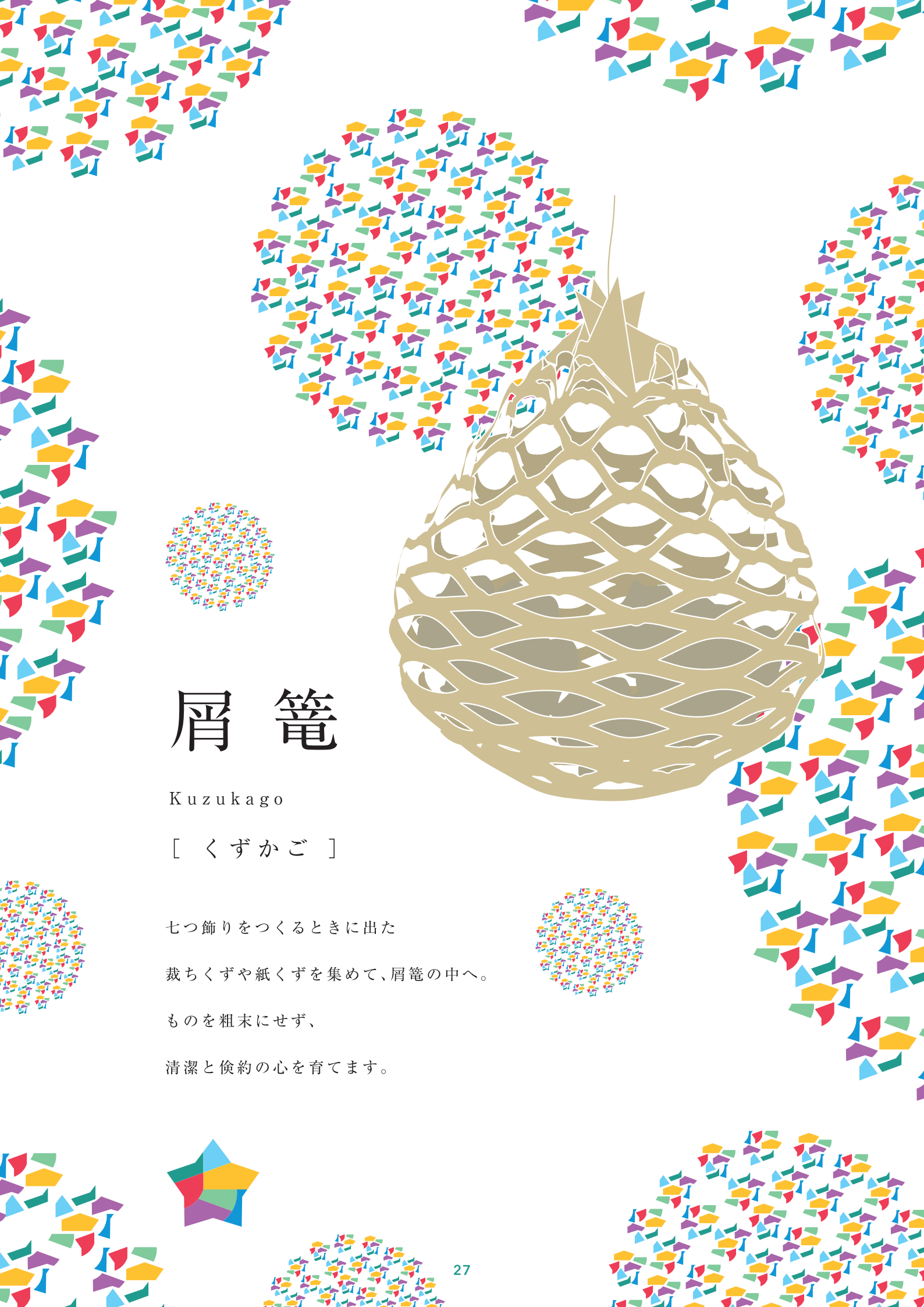


投 網

Toami

[とあみ]





屑 籠

K u z u k a g o

[く ず か ご]

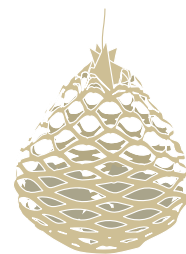
七つ飾りをつくるときに出た

裁ちくずや紙くずを集めて、屑籠の中へ。

ものを粗末にせず、

清潔と儉約の心を育てます。

屑籠をつくってみよう



★ 用意する紙

薄葉紙(うすようし)または 花がみ(18cmの正方形)1枚
かたい紙は形がひろがりにくいため、うすくてやわらかい紙がおすすめ。

★ 用意する道具



はさみ



のり



両面テープ



木工用ボンド



セロハンテープ



ホッチキス



カッター



たこ糸用針



たこ糸
(長さ30cm)

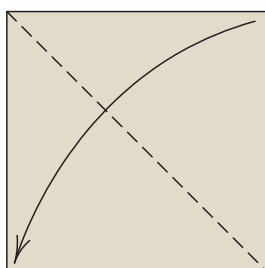


ペン

ポイント▶ ポイントマークは、「ここがポイント」ページをご覧ください。

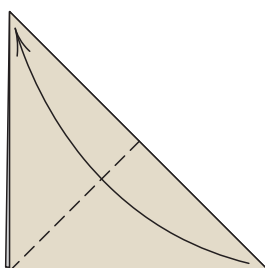
----- 山折り

1



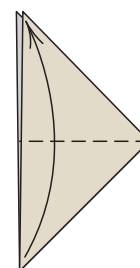
半分に三角折りをする。

2



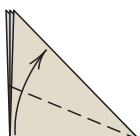
さらに半分に三角折り。

3



半分に三角折り。

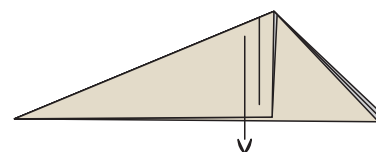
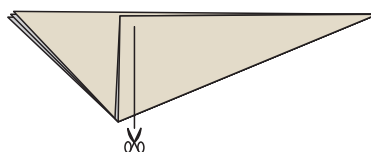
4



半分に三角折り。

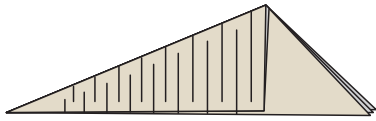
5

ポイント
1



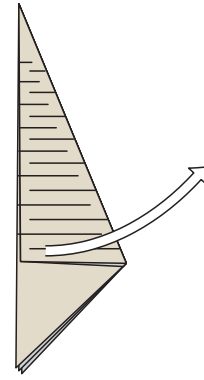
5mmほどすきまをあけて、はさみで切りこみを入れる。

6



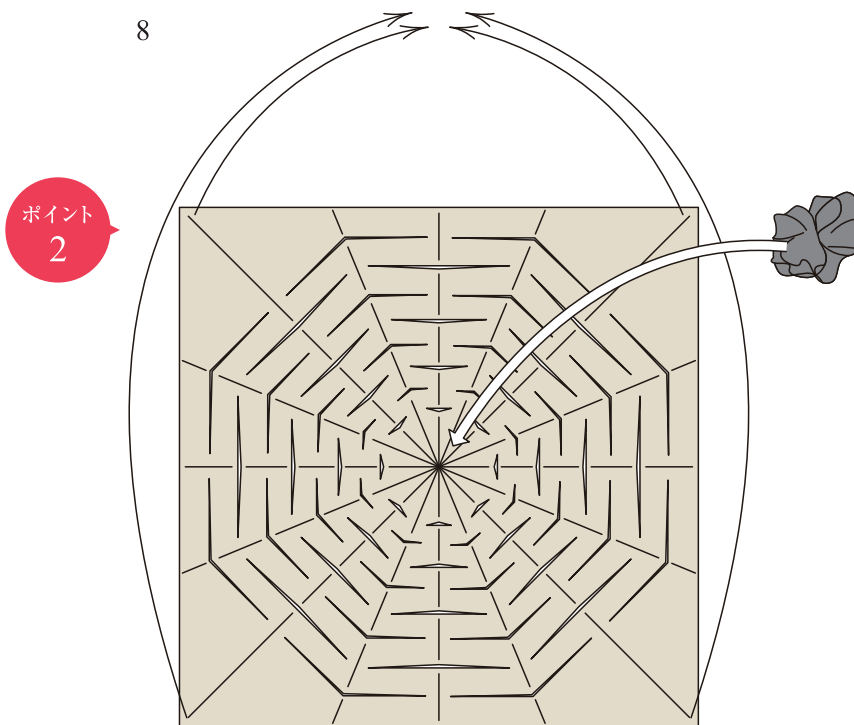
上下交互に切りこみを入れていく。
先端は2cmのこす。

7



やぶれないように、
ゆっくりひろげる。

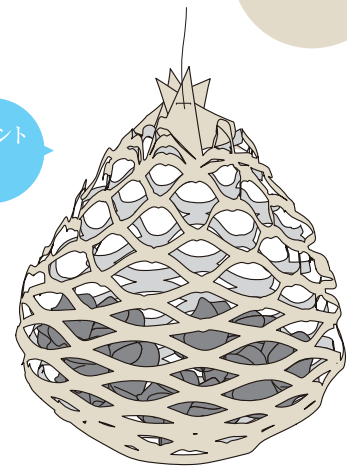
8



紙くずを中に入れる。
4つカドを谷折りする。

できあがり

ポイント
3



4つカドを対角線上に合わせ、
糸といっしょにホッチキスでとめる。

こ が ポ イ ント



ポイント
1

5mmほどすきまをあけて、
はさみで切りこみを入れる。

紙くずを中に入れる。
4つカドを谷折りする。

ポイント
2



ポイント
3

4つカドを対角線上に合わせ、
糸といっしょにホッチキスでとめる。



屑 籠

Kuzukago

[くずかご]





吹き流し

Fukinagashi

[ふきながし]

七夕物語のヒロイン・織姫は、機織りの名手。

吹き流しは、昔の織り糸をたらしした様子を表現しています。

くす玉とセットで、ひときわ優美な七夕飾りの代名詞。

吹き流しをつくってみよう



★ 用意する紙

[吹き流し]

輪のベース・・・画用紙などのかたい紙(ヨコ17cm×タテ1.5cm)1枚

輪のおもて・・・いろがみ(ヨコ15cm×タテ1.5cm)1枚

吹き流し・・・和柄の紙 または いろがみ(15cmの正方形)色・柄ちがいで2枚

[くす玉]

花がみ(ヨコ6cm×タテ10cm)12枚

(うすい紙やティッシュペーパーで代用もOK)

★ 用意する道具



はさみ



のり



両面テープ



木工用ボンド



セロハンテープ



ホッチキス



カッター



たこ糸用針



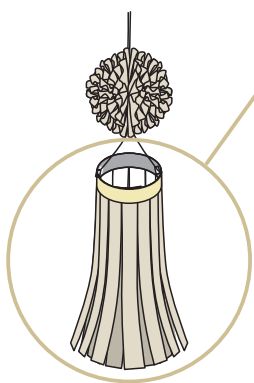
たこ糸
(長さ30cm)



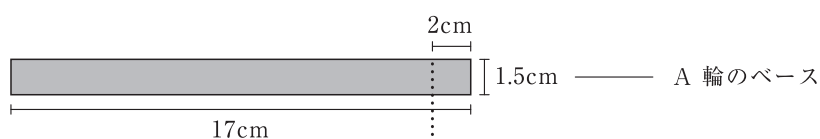
ペン

ポイント ▶ ポイントマークは、「ここがポイント」ページをご覧ください。

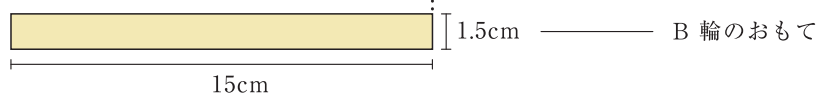
----- 山折り - - - - - 谷折り



吹き流しをつくる [紙の準備]



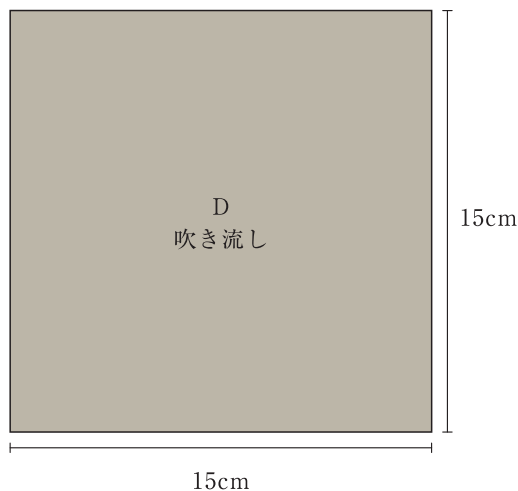
A 輪のベース



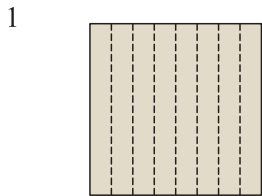
B 輪のおもて



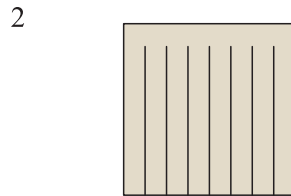
C
吹き流し



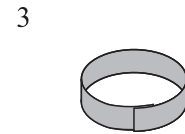
D
吹き流し



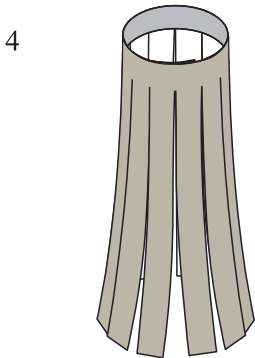
8等分に折りすじをつける。
(C、D 吹き流しの紙共通)



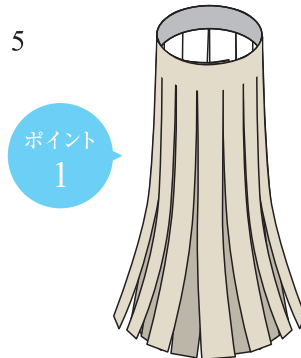
上をのこして切りこみを入れる。
(C、D 吹き流しの紙共通)



Aの紙(輪のベース)で輪をつくる。
はじを2cmより少し多めにかさね、
ホッチキスでとめる(のりづけでもOK)。

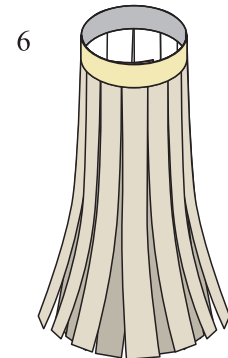


両面テープで
3にC(吹き流しの紙)をはる。

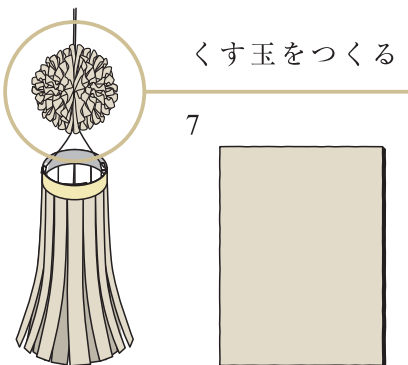


ポイント
1

切れ目がかくれるように、
D(吹き流しの紙)をかさねて
両面テープではる。

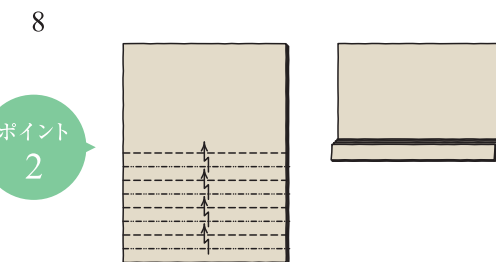


両面テープで
5にB(輪のおもて)をはる。



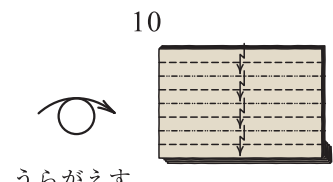
くす玉をつくる

花がみを6枚かさねる。



ポイント
2

上下半分に折る。
下半分を8回程度びょうぶたたみます。

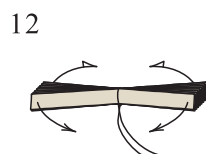


うらがえす。

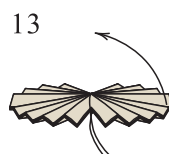
上半分も同じように
びょうぶたたみをし、
東にする。



たこ糸でまん中をしぼる。
むすび目が
東の下にくるようにする。



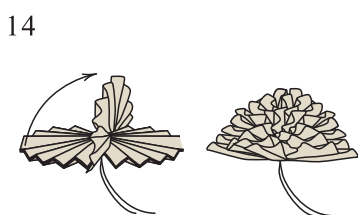
ひろげる。



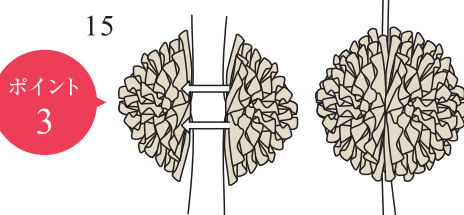
やぶれないように、
やさしく1枚ずつひろげる。

ポイント
4

できあがり

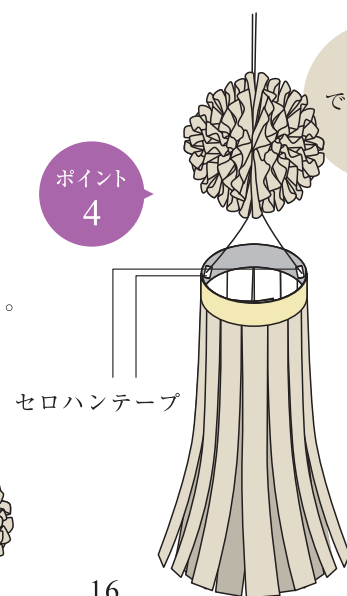


左右交互にひろげていく。
花のできあがり。



ポイント
3

同じようにもう1つ花をつくり、
2つを木工用ボンドではり合わせる。



セロハンテープ

くすだまの糸と吹き流しを、
セロハンテープではりつける
(はりでもおしてもOK)。

ここがポイント



ポイント
1

上下半分に折る。
下半分を8回程度
びょうぶたたみます

最初にはった吹き流しの
切れ目がかくれるように
かさねてはっていく。

ポイント
2



ポイント
3

同じようにもう1つ花をつくり、
2つを木工用ボンドではり合わせる。

くすだまの糸と吹き流しを、
セロハンテープではりつける。

ポイント
4





吹き流し

Fukinagashi

[ふきながし]



ねがい かざろう

仙台七夕まつり協賛会

(事務局：仙台商工会議所)

つくる、とどく。

監修／折紙作家 伊藤由磨

CD+企画／三浦了(LUCK SHOW)

デザイン／齋藤美穂(LUCK SHOW)

編集／池田直美

写真／門山夏子

コピーライティング／鎌田高広

企画制作／LUCK SHOW